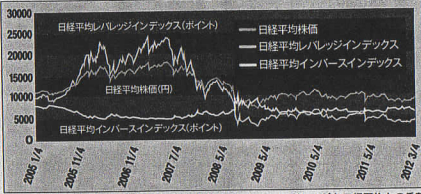


レバレッジ・インバース型ETFを長期保有するデメリット「複利効果」とは？

2倍変動するレバレッジほどではないが、-1倍のインバースでも複利効果は当然起こる。毎日100円の上下動が起きた場合をシミュレートした表を見ればわかるように、7営業日保有し続けると3円通減する。長期になればなるほど、この乖離は大きくなるので、ボックス相場での保有はNGだ。

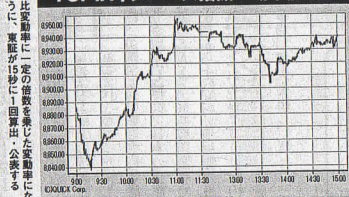
Table with 4 columns: Day, Buy Price, Daily Change, Sell Price. Shows a 7-day simulation of a 100 yen investment with daily 1% fluctuations, resulting in a 3 yen loss.

4月14日付の日本経済新聞より抜粋



05年から保有し続けた場合をシミュレートしたチャート。レバレッジと日経平均との乖離が非常に大きいことがわかる。上げトレンドでは大きく儲かるが、長期保有は危険大

TOPIXインバース指数 場中値動き



TOPIXレバレッジ指数 場中値動き



デメリットがある。複利効果だ。ボックス相場を「持ち続ける」と通減必至。右バーシク下にある値動きの式にあるとおり、指数値は複利で変動する。これによってボックス相場で長期保有すると通減してしまいう現象が起ってしまうのだ。...

り続けられ、複利効果でより大きな効果が得られるが、ボックス相場での長期保有はNGだ。その場合はレバレッジとインバースを交互に使ってのデイトレードが有効だ。2倍動けば中でも結構動く。それでもポラリティが足りないという人は、さらに信用取引を使うという手だ。...



短期売買がアツいETF新登場 MAX6倍までOK! レバレッジ・インバース型ETFで勝負する方法

米国や韓国市場で人気を博している株価指数に連動するブル・ベア型のETFが遂に日本国内市場で上場した。プル型はレバレッジが2倍利き、ベア型は-1倍で逆(インバース)に動くというこれらの銘柄のブル・ベア型ファンドとの違い、勝負する際のポイントを紹介!

株 株価指数にレバリかせたり 売り建てられるETFが上場。ブル型と、株価指数に逆に連動するベア型のETFが、4月5日に東証、4月12日に大証で立て続けに上場した。...



ファイナンシャルプランナー、スクウェア・リサーチ・ジャパン取締役。東洋大学経営学部非常勤講師も務める

伊藤亮太氏 買代金は円換算で6兆1600億円に達している。日本でも同様の人気を見込んでいるの上場なのだ。なお、東証の銘柄はTOPIXに、大証の銘柄は日経平均に連動する。株価指数に連動するブル・ベア型は投資でも存在している。レバレッジが2倍利きのものである。特に目新しさはない。となると、ETFとして上場したメリットはどこにあるのだろうか？

ETFは株式と同様に売買できるため、手数料が格段に安いんです。100万円分を買った場合、投資は手数料が2.1%かかりますので2万1000円分ですが、ETFならネット証券で買えば数百円程度で済みます。あと、投資の場合は一日1回しか取引できませんがETFなら何度でも売買できます。つまり、デイトレードに向きます。...

カリス・エリートトレーダーが語るレバレッジインバース型ETF投機テクニック. 日経平均やTOPIXという非常にわかりやすい指数にレバレッジが掛けられ、しかも売買が容易となり、デイトレードで勝負するにはベターな銘柄ではないか？

Table with 2 main sections: 'レバレッジ・インバース型ETFの概要' and 'インバースETFの値動き'. It lists various ETFs with their market, ticker, and performance metrics.